

series 名利をたずねて

野尻湖寺山に構えて

浄土真宗本願寺派

青龍山 眞光寺

信濃町野尻



自然と協和して 共生して

広い境内にはデーンと構える大きな本堂に続いて庫裡も二階建てでそれぞれの部屋が網羅され、その手前には鐘楼が厳かに鎮座しています。

鮮やかな紅葉の季節を迎えて、境内の大木は真っ黄色で、さんさんとちよつと待つて。紅葉と言えは、木の葉が赤くなることで赤くなった葉、モミジの異称のこと。
ですが、色では黄色が目立って、この中に所々赤い葉が遠慮しがちに。さらに、グリーンの葉もちらちらと。



ロマンと気品が漂う(みずうみ)、信濃町野尻湖。その寺山に構える眞光寺の新しいご住職に、岩尾利章(いわおしりょう)さんが就任して野尻の眞光寺第二十六世を世襲いたしました。
利章さんが大学四年生の時、父前住職が病気で亡くなりました。大学卒業後の半年間、本山の勤式指導所で勉強し寺坊に帰り、平成二十五年六月住職継職法要並びに親鸞聖人750回大遠忌法要を勤修いたしました。
「永い歴史を背に受けて、住職の重責を担ってゆくことは大変ですが、今後は門信徒の皆様と共に、新たな歩みを進めて参りたい」と、ご住職は語っておられました。
眞光寺第二十六世住職 岩尾利章
信濃町野尻九四一―一
電話二五八―二四一九



「連続研修会」と、極めて仰仰しい出で立ちでございますが、つまり跡切れなく続けて学芸をみがき修めて行くことへの愛称です。
主催は山地組(やまちそ)です。信濃町と飯綱町の浄土真宗本願派のお寺さんの集いで、山地組の組長さんは、飯綱町普光寺二〇八一の阿弥

いま話題の
「れんけん」って、
何ですか?
連研ノートE
連研ノートE
連研ノートE

編集後記

しばらくお休みいたしておりました「アイの四季だより」をこの晩秋から発刊できるようにいたしました。地域の方々には地域のお役に立つ情報を提供できるようにと、テーマを設定しまして、取材させていただきまして、コピーライトを行い編集して、校正を行い印刷所に廻して印刷して仕分けして新聞折込みしてと、皆様のお目に留まる訳です。これからも頑張りますので。(丸山)

陀寺住職、久遠峯志さんが勤めております。いろいろな連絡事項は連研担当渡辺英晴さん(明願寺副住職)がパソコンでハガキに認めて皆さまのお手元へ。
山地組メンバーを次にご紹介いたします。
明願寺/信濃町柏原 96 電話 255 2223
称名寺/信濃町富濃 3573 電話 255 5166
高山寺/飯綱町平出 208 電話 253 7173
眞光寺/信濃町野尻 941 電話 258 2419
専入寺/信濃町熊坂 394 電話 258 4143
明専寺/信濃町柏原 93 電話 255 2354
阿弥陀寺/飯綱町普光寺 253 3848
「れんけん」は月一回の頻度で講義講座や話し合い法座を開催しており、会場は山地組の寺が持ち回りで切磋琢磨、頑張っております。
お集まりの皆さまは宗派を超えて、あつちからこつちからと馳せ参じて来ております。一度でも参加された方は、ヤミつきになつてしまいましたと、楽しそうです。
関心がおありの方は、浄土真宗本願寺派のご近所のお寺へお問い合わせ下さい。仲間はお一人でも多い方が楽しさ倍増です。貴方がいらつしやる日を首長くしてお持ちしております。